

関東同窓会新年会開催される 1月23日

恒例の関東同窓会主催の新年会は、1月23日(木)18時半から開催された。

日本教育会館喜山倶楽部(千代田区一ツ橋)には約90名の同窓生が集まり新年を祝った。65期からの出席は、幹事長の丸山暢久(4組)と副会長の上原昇(2組)の他に小山佳朗(9組)の3人と少なかった。

新年会のアトラクションは、前田由美子さん(57期、箏:生田流大師範)とお仲間の若手箏曲家3人による初春に相応しい箏の四重奏である。

プログラムはヴィヴァルディの「四季より“春”」から始まり宮城道雄編曲の北海民謡を、その後はポピュラー「冬のソナタ」、映画「ゴッドファーザー」のテーマ曲、「コンドルは飛んでいく」、「オリーブの首飾り」と続き、「川の流れるように」と「真夜中のギター」は会場の皆が箏に合わせて気持ち良く歌う。最後は軽快な「コーヒールンバ」で締め括った。流石はプロのミュージシャンとあって迫力のある息の合った演奏を楽しむことが出来た。

2部は会場を移しての懇親会。世代を超えた同窓生の輪が幾つも出来て賑やかなパーティとなった。途中、今年の総会(6月29日開催)の実行委員期(67期、72期)出席者から力強い決意表明がなされた。

本年も関東同窓会に協力のほどよろしくお願いします。

(1月24日、上原記)



前田由美子さん(左から二人目)をはじめとする箏の四重奏